

石川紙業株式会社

岐阜県美濃市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「豊かな日本の心をプレゼント」

手作り和紙雑貨と誠実な仕事を通して、暮らしに幸福と笑顔をつくる企業

- 美濃和紙雑貨の企画から販売までを一貫して手がける。地元で雇用した女性の活躍により新製品を毎年継続的にリリース
- 国際展示会に15年連続で出展。弛まぬ営業活動で全国47都道府県に販売網を築き、海外にも積極的に展開
- 独自の卓越した技術力は学校授業や海外交流の促進にも貢献。美濃和紙雑貨の体験施設は、今注目の新たな観光資源に

企業基本情報

| | |
|--------|---------------------------------|
| 所在地 | 岐阜県美濃市吉川町 2382 |
| 電話/FAX | 0575-33-0228/0575-35-1363 |
| URL | http://www.ishikawa-shigyo.com/ |
| 代表者 | 代表取締役 石川 道大 |
| 設立 | 1902年 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 従業員数 | 15人 |



会社概要

1902年、美濃和紙の里・岐阜県美濃市で創業した同社は、手仕事と人の絆、地域の連帯を大切に、和紙雑貨の製造・販売を手がける。女性を中心とした営業・企画・開発・製造・販売の一貫経営を通じ、年間で444種類の新製品を開発。また、積極的な地域雇用により採用した15名の社員と40名の内職者で製作する、年間1,600種類の手作り和紙雑貨は、全国600社の様々な業界へ届けられ、リピーターを惹きつけてやまない。現在は、和紙のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、海外展開を強化。

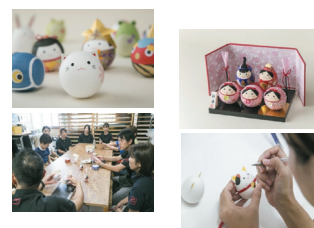


手仕事と人の絆を大切にする社風

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

国内「笑顔と幸せを生む」海外「日本文化を楽しむ」手作り美濃和紙雑貨

同社は、美濃和紙産地で美濃和紙を用いた手作りにこだわる立体和紙雑貨メーカーである。女性を中心とした全社員の企画力が強みで、毎年多数の手作りの新商品をリリース。年に3回全国の取引先に新作サンプルとアンケートを送付し、徹底的に顧客ニーズを調査するなど、シーズン直後に迅速で的確な企画～生産を実現。一方、手作りにこだわりつつも、材料・在庫・販売実績は管理システムを用いて効率化も図っている。新商品の企画サイクルも毎年ブラッシュアップし、開発力等の向上に努めている。



(左上)和紙起き上り人形「和紙ころころ」、(右上)手作り美濃和紙おひなさま、(左下)全員がクリエイター、全員参加の企画会議、(右下)心を込めた手作り生産

インバウンド向け商品開発、観光誘致、海外文化交流に取り組む

プレミアム・インセンティブショー春2016で同社製品「衣装こけし」がインバウンド商品大賞を受賞。イギリス、フランス、香港で美濃和紙雑貨のプロモーションを実施し、岐阜県が実施したパリのテストマーケティングでも高い評価を得ている。現在では、英語版ホームページや国際見本市を通して、中国、香港、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアで取引を開始。また、美濃和紙雑貨の体験施設は国土交通省「昇龍道ものづくり銘選」の認定を受け、美濃市の海外客誘致にも貢献している。



(上)国際見本市は美濃和紙を積極的に発信、(下)英語・中国語可能で、海外法人へ積極的に営業展開中

美濃和紙ブランド力×同社独自の企画力・技術力・生産力

同社の社内全員で取り組む“企画サイクル”は、継続的に毎年多数の商品を生み出す原動力となっている。和紙を三次元化するためには、独自の縫製や加工技術が必要となるが、同社では、現在1,600種類の製品を生産できる多様な加工技術を有している。また、独自の指導方法で高い技術力の職人を育成し、技術伝承等、万全の生産体制を構築している。今では、これらの高い技術力を用いた美濃和紙雑貨手作り体験が、美濃市の観光アクティビティに、さらに学校の授業や、海外交流に多く採用されている。



独自企画力・技術力・生産力は、ホームページ「美濃和紙雑貨ができるまで」に、公開されている